

アセタミプリド (案)

1. 品目名：アセタミプリド (acetamiprid)

2. 用途：殺虫剤

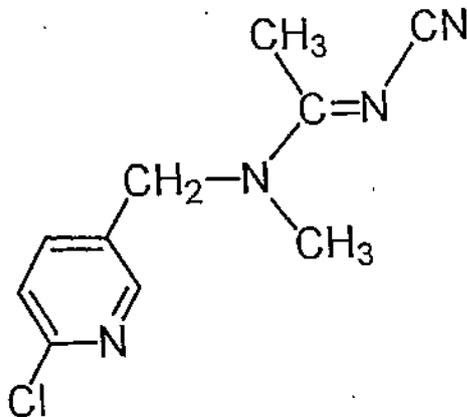
ネオニコチノイド系の殺虫剤である。作用機構は、昆虫神経のシナプス後膜のニコチン性アセチルコリン受容体に作用し、シナプス伝達の遮断を起こし殺虫活性を示すとされる。

3. 化学名：

(*E*)-*N*¹-[(6-chloro-3-pyridyl)methyl]-*N*²-cyano-*N*¹-methylacetamidine (IUPAC)

(*E*)-*N*¹-[(6-chloro-3-pyridinyl)methyl]-*N*²-cyano-*N*-methylethanamide (CAS)

4. 構造式及び物性



分子式 $C_{10}H_{11}ClN_4$

分子量 222.68

水溶解度 4.25g/L (25°C)

分配係数 $\log_{10}Pow=0.80$ (25°C)

(メーカー提出資料より)

5. 適用病害虫の範囲及び使用方法

本薬の適用病害虫の範囲及び使用方は以下のとおり。

なお、今回の基準値の設定に合わせ、一部で使用方法等の適用の変更と剤型の追加がされている。

(1) アセタミプリド 20% 水溶剤

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	アセタミプリドを含む農薬の総使用回数
かんきつ	アブラムシ類	2000～4000倍	200～700L/10a	収穫14日前まで	3回以内	散布	3回以内
	ミカンハモグリガ						
	アザミウマ類						
	コナカイガラムシ類						
	ゴマダラカミキリ成虫						
	ヤノコカイガラムシ						
	コアホナムグリ						
	ケンキスイ類						
	アゲハ類						
	カメムシ類						
	アカマルカイガラムシ						
	ロウムシ類	4000倍					
	コナジラミ類						
	ゴマダラカミキリ	200～400倍	30～75L/10a			主幹から株元に散布	
りんご	アブラムシ類	2000～4000倍	200～700L/10a	収穫前日まで	3回以内	散布	3回以内
	ギンモンハモグリガ						
	キンモンホリガ						
	シンクイムシ類						
	カメムシ類						
	リンゴワタムシ						
	クワコナカイガラムシ	4000倍					
	モモチョッキリゾウムシ						

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	アタミプリドを含む農薬の総使用回数
なし	カメシ類	2000～4000倍	200～700L/10a	収穫前日まで	2回以内	散布	2回以内
	アブラムシ類						
	シクイムシ類						
	クワコカカガラムシ						
もも	カキノヒメヨコバイ						
	アブラムシ類	2000倍		収穫3日前まで	3回以内		3回以内
	モモハモグリガ						
	シクイムシ類						
	ミカンキイロアザミウマ						
	カメシ類						
コスカシハ							
ネクタン	アブラムシ類	4000倍	200～700L/10a	収穫3日前まで	3回以内	散布	3回以内
	モモハモグリガ						
	シクイムシ類						
	ミカンキイロアザミウマ						
	カメシ類						
ぶどう	コナカカガラムシ類	2000～4000倍	200～700L/10a	収穫14日前まで	2回以内	散布	2回以内
	チャノキイロアザミウマ						
	フタデヒメヨコバイ						
	ツマグロアオカスミカメ	2000倍		収穫後秋期			
	ブドウトラカキリ						
かき	カキクダアザミウマ	2000～4000倍	200～700L/10a	収穫7日前まで	3回以内	散布	3回以内
	チャノキイロアザミウマ						
	フジコナカカガラムシ						
	カキノハタムシガ						
	カキノヒメヨコバイ						
	カメシ類						

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	アタミ [®] リト [®] を含む農薬の総使用回数
小粒核果類(すももを除く)	アブラムシ類	2000～4000倍	200～700L/10a	収穫7日前まで	2回以内	散布	2回以内
びわ	カキムシ類			2000倍	400L/10a		収穫前日まで
いちじく	アザミウマ類						
	ホシカミキリ						
	フジコカガラムシ						
	イチジクヒトリモドキ						
かりん	ナシヒメシクイ			収穫14日前まで	2回以内		2回以内
とうもろこし	アブラムシ類	2000～4000倍	100～300L/10a	収穫7日前まで	3回以内		3回以内
ばれいしょ	テントウムシダマシ	2000～6000倍					4回以内(植付時の土壌混和は1回以内、植付後は3回以内)
	アブラムシ類						
やまのいも	アザミウマ類	4000倍	種芋掘取り7日前まで	5回以内	3回以内	3回以内	
やまのいも(種芋栽培)	アブラムシ類						
	アザミウマ類						
やまのいも(むかご)	アブラムシ類						
	アザミウマ類						
すもも	アブラムシ類	2000～4000倍	200～700L/10a	収穫7日前まで	3回以内	3回以内	
	シクイムシ類	4000倍					
さんしょう(葉)	チャノキイロアザミウマ	4000倍	100～300L/10a	収穫45日前まで	6回以内	6回以内	
	アブラムシ類						
さんしょう(果実)	チャノキイロアザミウマ	4000倍	300L/10a	収穫7日前まで	1回	4回以内(散布は1回以内、樹幹散布は3回以内)	
	アブラムシ類						
		ゴマダラカミキリ幼虫	200倍	20L/10a	3回以内	樹幹散布	

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	アタミプリドを含む農薬の総使用回数				
おうとう	カメシ類	2000～4000倍	200～700L/10a	収穫3日前まで	1回	散布	1回				
	オトウシヨウジョウハエ										
えだまめ	アブラムシ類	4000倍	100～300L/10a	収穫7日前まで	3回以内		4回以内(は種時の土壌混和は1回以内、は種後は3回以内)				
	コナジラミ類										
	アザミウマ類										
あずき	アブラムシ類			4000倍			100～300L/10a	収穫21日前まで	3回以内	3回以内	
豆類(未成熟、ただし、えだまめ、さやいんげん、さやえんどうを除く)	アブラムシ類							アブラムシ類			収穫7日前まで
	コナジラミ類										
さやいんげん	アブラムシ類			2000～4000倍			100～300L/10a	3回以内	3回以内	3回以内	
さやえんどう	コナジラミ類			4000倍							
	アザミウマ類										
きゅうり	コナジラミ類	2000倍	100～300L/10a	収穫前日まで	3回以内	散布	5回以内(定植時の株元散布は1回以内、定植後の株元散布は1回以内、散布及びくん煙は合計3回以内)				
	ミナキイロアザミウマ										
	ウリノメカ										
	アブラムシ類	2000～4000倍									
	ミナキイロアザミウマ										
すいか	アブラムシ類	2000倍	100～300L/10a	収穫3日前まで	3回以内	散布	4回以内(定植時の土壌混和は1回以内、散布及びくん煙は合計3回以内)				
	ミナキイロアザミウマ										
	ウリノメカ										
	コナジラミ類										

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	アセチリドを含む農薬の総使用回数						
メロン	アブラムシ類	8000 倍	100～ 300L/10a	収穫 3 日 前まで	3 回以内	散布	3 回以内						
うり類(漬 物用)	アザミウマ類	2000～4000 倍		収穫前日 まで				2 回以内	3 回以内(定植 時の土壌混和 は 1 回以内、散 布及びくん煙 及び株元散布 は合計 2 回以 内)				
トマト	アブラムシ類	2000 倍			コナジラミ類		ヒラス [®] ハナアザミ ウマ						
	アブラムシ類									アザミウマ類			
	アザミウマ類										コナジラミ類		
ヒラス [®] ハナアザミ ウマ													
ミニトマト	アブラムシ類	4000 倍			アザミウマ類		コナジラミ類	ヒラス [®] ハナアザミ ウマ					
なす	アブラムシ類									4000 倍	アザミウマ類	コナジラミ類	ヒラス [®] ハナアザミ ウマ
	アザミウマ類												
ピーマン	アブラムシ類	4000 倍		アザミウマ類	コナジラミ類		ヒラス [®] ハナアザミ ウマ						
	アザミウマ類												
	コナジラミ類												
とうがら し類	アブラムシ類	8000 倍	100～ 300L/10a	収穫 7 日 前まで	2 回以内	2 回以内							
キャベツ	コナジラミ類	1000～2000 倍		アザミウマ類	コナジラミ類	ヒラス [®] ハナアザミ ウマ							
	アオムシ												
	アブラムシ類	2000～4000 倍	5 回以内				6 回以内(粒剤 の株元散布及 び土壌混和は 合計 1 回以内、 散布は 5 回以 内)						

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	アタミプロトを含む農薬の総使用回数	
ブロッコリー	コナガ	2000 倍	100～ 300L/10a	収穫 14 日 前まで	3 回以内	散布	4 回以内(粒剤 の株元散布及 び土壌混和は 合計 1 回以内、 散布は 3 回以 内)	
	アオムシ							
	アブラムシ類							
はくさい	コナガ	1000～2000						
	アオムシ	倍						
	アブラムシ類	2000～4000 倍						
だいこん	コナガ	2000 倍			1 回		1 回	1 回
	アオムシ							
	キスジノミハシ							
	アブラムシ類	2000～4000 倍						
わさびだ いこん	コナガ	2000 倍	収穫 7 日 前まで	1 回	1 回			
はつかだ いこん	アブラムシ類	2000～4000 倍	収穫 14 日 前まで					
かぶ	キスジノミハシ	2000 倍	収穫 21 日 前まで					
	アブラムシ類	4000 倍	収穫 7 日 前まで	1 回	チンゲンサイは 2 回 以内(粒剤の 株元散布は 1 回以内、散布 は 1 回以内)、チ ンゲンサイ以外は 1 回			
非結球あ ぶらな科 葉菜類	キスジノミハシ							
なばな類	アブラムシ類	2000～4000 倍	収穫 14 日 前まで	1 回	1 回			
いちご			コナジラミ類			2000 倍	収穫前日 まで	2 回以内
	ヒラスノアザミ ウマ							
	ミカンキイロアザミ ウマ							

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	アセミ [®] リト [®] を含む農薬の総使用回数		
つるな	アブラムシ類	4000～8000倍	100～300L/10a	収穫14日前まで	3回以内	散布	3回以内		
バジル		8000倍		収穫21日前まで					
レモンバーム		4000～8000倍		収穫14日前まで					
はっか		8000倍		収穫7日前まで					
セージ		4000～8000倍		収穫21日前まで	1回			2回以内	
パセリ		8000倍		収穫3日前まで					
茎フロccoliー		4000倍		収穫前日まで					
キャハツ		2000倍		2000倍	収穫7日前まで			1回	1回
非結球キャハツ					2回以内			2回以内	
食用さくら(葉)	アザミウマ類	4000倍	500L/10a	収穫3日前まで	1回	1回			
あけび(果実)	アブラムシ類			収穫7日前まで	2回以内	2回以内			
たまねぎ	ネギアザミウマ	2000倍	100～300L/10a	収穫7日前まで	3回以内	3回以内			
ねぎ	ネギアザミウマ	2000倍		収穫7日前まで	3回以内	3回以内(は種時の土壌混和は1回以内、植付時の土壌混和及び定植当日までの株元散布は合計1回以内)			
わけぎ	アザミウマ類					3回以内(は種時の土壌混和は1回以内、植付時の土壌混和は1回以内)			
あさつき	アザミウマ類					3回以内(は種時の土壌混和は1回以内、植付時の土壌混和は1回以内)			

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	アタミフリドを含む農薬の総使用回数		
アスパラガス	アブラムシ類	4000 倍	100～ 300L/10a	収穫前日 まで	2 回以内	散布	2 回以内		
	コナジラミ類								
	ネギアザミウマ								
	ジュウシホシクビ ナガハムシ								
レタス	アブラムシ類	2000 倍	100～ 300L/10a	収穫 7 日 前まで	3 回以内	散布	4 回以内(粒剤 の株元散布は 1 回以内、散布 は 3 回以内)		
非結球レタス	アザミウマ類						2 回以内(粒剤 の株元散布は 1 回以内、散布 は 1 回以内)		
オクラ	アブラムシ類	4000 倍	100～ 300L/10a	収穫前日 まで	3 回以内	散布	3 回以内		
食用ぎく	アザミウマ類							2 回以内	
食用金魚 草									1 回
食用プリムラ									
食用ゆり	アブラムシ類	4000 倍	100～ 300L/10a	収穫前日 まで	4 回以内	散布	4 回以内		
にら	アザミウマ類							3 回以内	
てんさい	テンサイトビハムシ	200 倍	ペーパーポット 1 冊当り 1L(3L/m ²)	定植前	1 回	苗床灌注	1 回		
	テンサイモグリハナ バエ								
にがうり	アブラムシ類	4000 倍	100～ 300L/10a	収穫前日 まで	3 回以内	散布	3 回以内		
マンゴー	チャノキイロアザミ ウマ	2000 倍	300～ 700L/10a	収穫 35 日 前まで					
タイム	アブラムシ類	8000 倍	100～ 300L/10a	収穫 21 日 前まで	3 回以内	散布	3 回以内		
マジョラム				収穫 14 日 前まで					
レガノ				収穫 7 日 前まで					

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	アセミプリドを含む農薬の総使用回数
茶	チャノミドリヒメコハバ	2000～4000倍	200～400L/10a	摘採14日前まで	1回	散布	1回
	チャノキイロアザミウマ						
	チャノホカ						
みつば	8000倍	100～300L/10a	収穫7日前まで	2回以内	3回以内(定植時の土壌混和は1回以内、散布は2回以内)		
かぼちゃ	チャノキイロアザミウマ		2000倍				収穫前日まで
	チャノホカ						
ブルーベリー	オウトウショウジョウハエ	4000倍	300L/10a	収穫7日前まで	1回		1回
ほうれんそう (使用時期の変更)	アブラムシ類	8000倍	100～300L/10a	収穫14日前まで	2回以内		2回以内
キウイフルーツ	クワロカイガラムシ	2000倍	400L/10a	収穫7日前まで	3回以内		3回以内
カリフラワー	アブラムシ類			4000倍		収穫14日前まで	
食用ほおずき		100～300L/10a	4000倍			収穫7日前まで	
くきちしや	2回以内			2回以内			
ふだんそう							
しそ	コナジラミ類	3000倍	100～300L/10a		収穫14日前まで	2回以内	3回以内(粒剤の株元散布は1回以内、散布は2回以内)
らっきょう	ネアザミウマ	2000倍	300L/10a	収穫14日前まで	3回以内	3回以内	
アセロラ	アブラムシ類	4000倍	300L/10a	収穫7日前まで	2回以内	2回以内	

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	アセタミプリドを含む農薬の総使用回数
パッションフルーツ	コナカイラムシ類	2000倍	100～300L/10a	収穫30日前まで	2回以内	散布	2回以内
しゅんぎく	アブラムシ類	8000倍		収穫14日前まで			
なずな				収穫7日前まで	1回		1回
ははこぐさ							
エンサイ				4000倍	2回以内		2回以内
チャービル	アブラムシ類	8000倍		収穫21日前まで	3回以内		3回以内
タラゴン		4000倍		収穫14日前まで	2回以内		2回以内
テイル(葉)		8000倍		収穫21日前まで	3回以内		3回以内
モロヘイヤ (適用変更)		コナカイラムシ類		4000倍	収穫21日前まで		1回
セロリ (適用変更)	アブラムシ類	収穫7日前まで			2回以内		2回以内

(2) アセタミプリド 2% 粒剤

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	アセタミプリドを含む農薬の総使用回数
キャベツ	コナカイラムシ	1～2g/株	定植時	1回	植穴土壌混和	6回以内(粒剤の株元散布及び土壌混和は合計1回以内、散布は5回以内)
	アブラムシ					
	コナカイラムシ	0.5～1g/株	定植前日～定植当日		株元散布	
	アブラムシ					
	アブラムシ類					
	ハイダラメカイ	0.5g/株	1g/株		定植時	
ハスモンヨトウ	1～2g/株					
はくさい	コナカイラムシ	0.5g/株	定植前日～定植当日	1回	株元散布	4回以内(粒剤の株元散布及び土壌混和は合計1回以内、散布は3回以内)
	アブラムシ					
	アブラムシ類					
	ハイダラメカイ	1g/株	定植時		植穴土壌混和	
	コナカイラムシ					
アブラムシ	0.5g/株	定植前日～定植当日	1回	株元散布		
アブラムシ類						
アブラムシ	0.5g/株	定植前日～定植当日	1回	株元散布	2回以内(粒剤の株元散布は1回以内、散布は1回以内)	
アブラムシ						

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	アセチアリドを含む農薬の総使用回数
非結球あぶらな科 葉菜類(チンゲンサイを除く)	コカガ	3kg/10a	は種時	1回	播溝土壌混和	1回
	アブラムシ類					
だいこん	コカガ	0.5~1g/株	定植前日~ 定植当日		株元散布	4回以内(粒剤の株元散布及び土壌混和は合計1回以内、散布は3回以内)
	アブラムシ類					
ブロッコリー	コカガ	1~2g/株	定植時		植穴土壌混和	
	アムシ	1g/株	定植前日~ 定植当日		株元散布	
	アブラムシ類	0.5~1g/株	定植時		植穴土壌混和	
		0.5~1g/株	定植前日~ 定植当日		株元散布	
	ハイマダラノメカガ	0.5g/株	定植時			
	きゅうり	アブラムシ類	0.5~1g/株			
0.5g/株						
すいか		1g/株	定植時	植穴土壌混和	4回以内(定植時の土壌混和は1回以内、散布及びくん煙は合計3回以内)	
ピーマン	アブラムシ類	0.5g/株	定植時	植穴土壌混和	3回以内(粒剤の株元散布及び土壌混和は合計1回以内、散布及びくん煙は合計2回以内)	
なす				定植前日~ 定植当日	株元散布	4回以内(粒剤の株元散布及び土壌混和は合計1回以内、散布及びくん煙は合計3回以内)
			0.5~1g/株	定植時	植穴土壌混和	4回以内(粒剤の株元散布及び土壌混和は合計1回以内、散布及びくん煙は合計3回以内)
	ミキイロアサミウマ	1g/株				
トマト	コジラミ類	0.5g/株	生育期	2回以内	株元散布	3回以内(定植時の土壌混和は1回以内、散布及びくん煙及び株元散布は合計2回以内)
	トマトハモクシバエ					
ミニトマト	コジラミ類	1g/株	定植時	1回	植穴土壌混和	3回以内(定植時の土壌混和は1回以内、散布及びくん煙及び株元散布は合計2回以内)
	トマトハモクシバエ					
いちご	アブラムシ類	0.5~1g/株	定植時	1回	植穴土壌混和	3回以内(粒剤の株元散布及び土壌混和は合計1回以内、散布及びくん煙は合計2回以内)
			生育期(定植30日後まで)但しマルチ被覆直前まで		株元散布	
		0.5g/株	定植時			

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	アセチプロリトを含む農薬の総使用回数
レタス	ナメグ [®] リハ [®] エ オオタハ [®] コガ [®]	0.5g/株	定植前日～ 定植当日	1回	株元散布	4回以内(粒剤の株元散布は1回以内、散布は3回以内)
	非結球レタス	アブラムシ類				0.25～ 0.5g/株
ナメグ [®] リハ [®] エ オオタハ [®] コガ [®]		0.5g/株	4回以内(植付時の土壌混和は1回以内、植付後は3回以内)			
ばれいしよ	アブラムシ類	3～6kg/10a	植付時		植溝土壌混和	4回以内(は種時の土壌混和は1回以内、植付時の土壌混和は1回以内)
わけぎ	ネキ [®] アサ [®] ミウマ [®] ネキ [®] ハモク [®] リハ [®] エ	6kg/10a	は種時		播溝土壌混和	3回以内(は種時の土壌混和は1回以内、植付時の土壌混和は1回以内)
	あさつき	ネキ [®] アサ [®] ミウマ [®] ネキ [®] ハモク [®] リハ [®] エ	6kg/10a		は種時	播溝土壌混和
わけぎ		ネキ [®] アサ [®] ミウマ [®] ネキ [®] ハモク [®] リハ [®] エ			植付時	植溝土壌混和
	あさつき	ネキ [®] アサ [®] ミウマ [®] ネキ [®] ハモク [®] リハ [®] エ	6kg/10a		植付時	株元散布
ねぎ		ネキ [®] アサ [®] ミウマ [®] ネキ [®] ハモク [®] リハ [®] エ			0.25～ 0.5g/株	定植前日～ 定植当日
	ねぎ	ネキ [®] アサ [®] ミウマ [®] ネキ [®] ハモク [®] リハ [®] エ	6kg/10a		は種時	植溝土壌混和
ねぎ		ネキ [®] アサ [®] ミウマ [®] ネキ [®] ハモク [®] リハ [®] エ		植付時	植溝土壌混和	
	ぶどう	ブドウネアブラムシ	30g/m ² (但し6kg/10a以下)	収穫14日前まで	2回以内	樹冠下または主幹周辺に散布
さといも	アブラムシ類	3～6kg/10a	植付時	1回	植溝土壌混和	1回
えだまめ	アブラムシ類	3kg/10a	は種時		播溝土壌混和	4回以内(は種時の土壌混和は1回以内、は種後は3回以内)
ひこしまはるな		1g/株	定植時		植穴土壌混和	1回
ふき	コジ [®] ラムシ類 モモア [®] カア [®] アブラムシ	2g/株	収穫90日前まで		株元散布	3回以内(粒剤の株元散布は1回以内、散布は2回以内)
	こんにやく	ワタア [®] アブラムシ	3kg/10a		培土時(出芽期)	株元土壌混和
かぼちゃ	アブラムシ類	1g/株	定植時		植穴土壌混和	3回以内(定植時の土壌混和は1回以内、散布は2回以内)
セロリ		0.5g/株				1回

(3) 15% アセタミプリド くん煙剤

作物名	適用場所	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	アセタミプリドを含む農薬の総使用回数
メロン	温室、ビニールハウス等の密閉できる場所	アブラムシ類	くん煙室容積 400m ³ (床面積200m ² ×高さ2m)当たり50g	収穫前日まで	3回以内	くん煙	3回以内
きゅうり		コジラミ類					5回以内(定植時の株元散布は1回以内、定植後の株元散布は1回以内、散布及びくん煙は合計3回以内)
		ミキミイアザミウマ					
ピーマン		アブラムシ類			2回以内		3回以内(粒剤の株元散布及び土壌混和は合計1回以内、散布及びくん煙は合計2回以内)
すいか		ミキミイアザミウマ			4回以内(定植時の土壌混和は1回以内、散布及びくん煙は合計3回以内)		
		アブラムシ類					
なす		ミキミイアザミウマ			3回以内		4回以内(粒剤の株元散布及び土壌混和は合計1回以内、散布及びくん煙は合計3回以内)
トマト		コジラミ類			3回以内(定植時の土壌混和は1回以内、散布及びくん煙及び株元散布は合計2回以内)		
		ミカンキイアザミウマ					
ミニトマト		コジラミ類			2回以内		3回以内(粒剤の株元散布及び土壌混和は合計1回以内、散布及びくん煙は合計2回以内)
		ミカンキイアザミウマ					
いちご		アブラムシ類			3回以内		
みかん	収穫3日前まで		3回以内	3回以内			
ズッキーニ	収穫前日まで		2回以内	2回以内			
みょうが(花穂)	アブラムシ類	3回以内	収穫前日まで	3回以内	くん煙、但し花穂の発生期には花穂をマルチフィルム被覆した状態で使用する	3回以内	

(4) 0.005% アセタミプリド スプレー剤

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	アセタミプリドを含む農薬の総使用回数
うめ	アブラムシ類	原液	収穫7日前まで	2回以内	希釈せずそのまま散布する	2回以内
かんきつ			収穫14日前まで	3回以内		3回以内
きゅうり	シメキイロアザミマ		3回以内	5回以内(定植時の株元散布は1回以内、定植後の株元散布は1回以内、散布及びくん煙は合計3回以内)		
トマト	アブラムシ類		収穫前日まで	2回以内		3回以内(定植時の土壌混和は1回以内、散布及びくん煙及び株元散布は合計2回以内)
	タバココナジラミ類(シルバークリーフコナジラミを含む)					
なす	シメキイロアザミマ	3回以内	4回以内(粒剤の株元散布及び土壌混和は合計1回以内、散布及びくん煙は合計3回以内)			
	オンシツコナジラミ					

(5) 2% アセタミプリド 液剤

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	アセタミプリドを含む農薬の総使用回数
かき	キノハタムシガ	500倍	収穫7日前まで	3回以内	散布	3回以内
うめ	アブラムシ類			2回以内		2回以内
かんきつ			収穫14日前まで	3回以内		3回以内
トマト			収穫前日まで	2回以内		3回以内(定植時の土壌混和は1回以内、散布及びくん煙及び株元散布は合計2回以内)
なす				4回以内(粒剤の株元散布及び土壌混和は合計1回以内、散布及びくん煙は合計3回以内)		
きゅうり			3回以内	5回以内(定植時の株元散布は1回以内、定植後の株元散布は1回以内、散布及びくん煙は合計3回以内)		
はくさい		アオムシ	250倍	収穫14日前まで	5回以内	4回以内(粒剤の株元散布及び土壌混和は合計1回以内、散布は3回以内)
キャベツ	収穫7日前まで			6回以内(粒剤の株元散布及び土壌混和は合計1回以内、散布は5回以内)		

(6) 18% アセタミプリド 液剤

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	アセタミプリドを含む農薬の総使用回数
かんきつ	アブラムシ類	4000倍	200 ~ 700L /10a	収穫14日前 まで	3回以内	散布	3回以内
	ミカンハモグリガ						
	コアオハナムグリ						
	ケシキスイ類						
	アカマルカイラムシ						
	ヤノネカラムシ	2000 ~ 4000倍					
	アサミウマ類						
	コナカイラムシ類	400倍	30 ~ 75L /10a			主幹から 株元に散布	
	ゴマダラカミキリ成虫						
	カメムシ類						
ゴマダラカミキリ							
キウイフルーツ	キウヒメヨコバイ	400倍	200 ~ 700L /10a		3回以内	散布	4回以内(植付時 の土壌混和は1 回以内、植付後 は3回以内)
ばれいしょ	テントウムシダマシ	4000 ~ 6000倍	100 ~ 300L /10a	収穫7日前 まで			
			64倍				
とうもろこし (子実)	アブラムシ類	4000 ~ 6000倍	100 ~ 300L /10a	収穫14日前 まで	3回以内	散布	3回以内
未成熟 とうもろこし		64倍	3.2L/10a				
てんさい	テンサイトビハムシ	200倍	ヘーパ-ポット 1冊当り 1L(3L/m ²)	定植前	1回	苗床灌注	1回
あずき	アブラムシ類	4000倍	100 ~ 300L /10a	収穫21日前 まで	3回以内	散布	3回以内
やまのいも	アブラムシ類	4000倍	100 ~ 300L /10a	収穫7日前 まで	3回以内	散布	3回以内
やまのいも (むかご)				収穫21日前 まで			
はくさい				収穫14日前 まで			
キャベツ				収穫7日前 まで			
だいこん	はつかだ いこん			収穫14日前 まで			
茶 (適用変更)	チャノミドリヒメヨコバイ	2000倍	200 ~ 400L /10a	摘採14日前 まで	1回		1回
	チャノキイロアサミウマ						
	マダラカサハラハムシ	2000 ~ 4000倍					
	コシカンアブラムシ						
	チャノホソガ						

(7) 0.005% アセタミプリド・0.04% チオファネートメチル スプレー剤

作物名	適用病害虫名	希釈 倍数	使用 時期	本剤の 使用回 数	使用方 法	アセタミプリドを 含む農薬の総使用回 数	チオファネートメチルを 含む農薬の総使用回 数		
きゅうり	炭疽病	原液	収穫 前日 まで	3回以 内	希 釈 せ ず そ の ま ま 散 布 す る	5回以内(定植時の株 元散布は1回以内、 定植後の株元散布は 1回以内、散布及びく ん煙は合計3回以 内)	6回以内(種子への処 理は1回以内、は種後 は5回以内)		
	うどんこ病								
	アブラムシ類								
	コジラミ類								
トマト	葉かび病								
	コジラミ類								
なす	アブラムシ類			2回以 内				3回以 内	4回以内(定植時の土 壌混和は1回以内、 散布及びくん煙及び 株元散布は合計2回 以内)
				4回以内(粒剤の株元 散布及び土壌混和は 合計1回以内、散布 及びくん煙は合計3 回以内)					

(8) 1% アセタミプリド 粒剤 (新規)

作物名	適用病害虫名	使 用 量	使用時期	本剤の 使用回数	使用方法	アセタミプリドを含む 農薬の総使用回数	
きゅうり	アブラムシ類	1~2g/ 株	定植後から 収穫前日ま で	3回以内	株元散布	5回以内(定植時の2%粒 剤の株元散布は1回以 内、定植後の2%粒剤の 株元散布は1回以内、 散布及びくん煙及び1% 粒剤の株元散布は合計 3回以内)	
	コジラミ類	1g/株					
なす	アブラムシ類	1~2g/ 株					4回以内(定植時の2%粒 剤の株元散布及び土壌 混和は合計1回以内、散 布及びくん煙及び1%粒 剤の株元散布は合計3 回以内)
トマト ミニトマト	コジラミ類	1g/株					
ピーマン	アブラムシ類	1~2g/ 株	2回以内	3回以内(定植時の2%粒 剤の土壌混和は1回以 内、散布及びくん煙及 び1%粒剤の株元散布は 合計2回以内)			

(10) 海外での使用方法

① 70% アセタミプリド 水和剤 (米国)

作物群	適用病 害虫名	薬量 lb ai/A	使用 液量	使用 時期	使用 回数
まめ類 エンドウマメ インゲンマメ ダイズ 等	アブラムシ類 ヨコバイ類 Cucumber beetle ダイズサルハムシ インゲンテントウ	0.044-0.1	航空散布 5 gallons/A 地上散布 20 gallons/A	収穫 7日前 まで	3回 以内
	コナジラミ類	0.075-0.1			
	アザミウマ類	0.085-0.1			
Tuberous And Corm Vegetables ジャガイモ サツマイモ クズウコン アーティチョーク 等	アブラムシ類	0.044-0.075	航空散布 5 gallons/A 地上散布 20 gallons/A	収穫 7日前 まで	4回 以内
	ヨコバイ類, コロラドハムシ Cucumber beetle	0.025-0.075			
	ノミハムシ類	0.025-0.05			
	ヨーロッパアワノメイガ (卵)	0.05-0.075			
アブラナ科作物 ブロッコリー キャベツ 芽キャベツ ミズナ カリフラワー ケール 等	アブラムシ類	0.035-0.054	航空散布 5 gallons/A 地上散布 20 gallons/A	収穫 7日前 まで	5回 以内
	コナジラミ類	0.05-0.075			
	アザミウマ類	0.075			
	コナガ	0.075			
	Swede midge	0.075			
葉野菜 セロリ レタス カラシナ ホウレンソウ パセリ 等	アブラムシ類	0.035-0.075	航空散布 5 gallons/A 地上散布 20 gallons/A	収穫 7日前 まで	5回 以内
	コナジラミ類	0.05-0.075			

作物群	適用病 害虫名	薬量 lb ai/A	使用 液量	使用 時期	使用 回数
タマネギ および Bulb Vegetable 類 タマネギ ニンニク ユリネ 等	アザミウマ類	0.094-0.15	航空散布 5 gallons/A 地上散布 20 gallons/A	収穫 7日前 まで	4回 以内
果菜類 ナス トマト ホウズキ トウガラシ 等	アブラムシ類 コロラドハムシ コナジラミ類 アザミウマ類 Pepper weevil	0.035-0.075 0.025-0.05 0.05-0.075 0.075 0.05-0.075	航空散布 5 gallons/A 地上散布 20 gallons/A	収穫 7日前 まで	4回 以内
うり類 メロン キュウリ カボチャ スイカ 等	Cucumber beetle Melonworm Pickleworm ヘリカメムシ類 Squash vine borer アブラムシ類 ヨコバイ類 シルバーリーフ コナジラミ	0.05-0.10 0.1 0.05-0.075 0.05-0.10	航空散布 5 gallons/A 地上散布 20 gallons/A	収穫直後 まで (PHI 0)	5回 以内
柑橘類 グレープフルーツ キンカン レモン ライム オレンジ ミカン 等	アブラムシ類 Citrus thrips, ミカンハモグリガ Caribbean black scale, Glassywinged shaepshooter アカマルカイガラムシ, カンキツカタカイガラムシ キリギリス類	0.05-0.1 0.75-0.125 0.15-0.25 0.11-0.19	航空散布 20 gallons/A 地上散布 100 gallons/A	収穫 7日前 まで	5回 以内

作物群	適用病 害虫名	薬量 lb ai/A	使用 液量	使用 時期	使用 回数
Pome Fruit リンゴ ナシ マルメロ ビワ 等	アブラムシ類	0.05-0.075	航空散布 10 gallons/A 地上散布 50 gallons/A	収穫 7日前 まで	4回 以内
	Tentiform leafminer	0.05			
	ヨコバイ類	0.05-0.075			
	コドリンガ	0.075-0.15			
	ナシヒメシンクイ Lesser apple worm	0.1-0.15			
	コナカイガラムシ類 <i>Psylla mullein</i> カスミカメムシ類	0.075-0.15			
	European apple sawfly マメコガネ	0.1-0.15			
	Apple maggot Plum curculio ナシマルカイガラムシ	0.15			
	Dogwood borer	0.15			
Stone Fruit アプリコット オウトウ ネクタリン モモ ブラム 等	アブラムシ類 ヨコバイ類	0.05-0.10	航空散布 10 gallons/A 地上散布 50 gallons/A	収穫 7日前 まで	4回 以内
	Glassywinged sharpshooter	0.075-0.15			
	ナシヒメシンクイ Peach twig borer Plum curculio Cat-Facing insects	0.1-0.15			
	Cherry fruit fly Black cherry fly Western cherry fly	0.10-0.15			
	ナシマルカイガラムシ マメコガネ Rose chafer	0.1-0.15			

作物群	適用病 害虫名	薬量 lb ai/A	使用 液量	使用 時期	使用 回数
イチゴ および Low growing berry 類	Blueberry maggot, Blueberry spanworm, Cherry fruitworm, ノミハムシ類, マメコガネ, Oblique banded leaf roller, カスミカメムシ類 ケシキスイ類, アザミウマ類 コナジラミ類 Fireworm	0.075-0.13	航空散布 10 gallons/A 地上散布 20 gallons/A	収穫 1 日前 まで	2 回 以内
	アブラムシ類 ヨコバイ類 アワフキムシ類	0.035-0.075			
ブルーベリー および Bush and Cane berry 類 ブルーベリー ラズベリー 等	アブラムシ類 ヨコバイ類	0.044-0.1	航空散布 5 gallons/A 地上散布 20 gallons/A	収穫 1 日前 まで	5 回 以内
	コナジラミ類	0.075-0.1			
	マメコガネ, Blueberry maggot, ケシキスイ類, Tamished plant bug, Strawberry rootworm, Carnberry fruitworm, Cherry fruitworm, ノミハムシ類, Blueberry spanworm アザミウマ類	0.085-0.1			
ぶどう キウイフルーツ (Fuzzy kiwifruit を除く)	ヨコバイ類, Glassywinged sharpshooter, アブラムシ類, コナカイガラムシ類 Western grapeleaf skeletonizer (ロッキー山脈東側のみの登録) ブドウネアブラムシ Banded grape bug Rose chafer マメコガネ	0.05	航空散布 5 gallons/A 地上散布 20 gallons/A	収穫 7 日前 まで	2 回 以内

作物群	適用病 害虫名	薬量 lb ai/A	使用 液量	使用 時期	使用 回数
綿実	アブラムシ類	0.025-0.05	地上散布 5~10 gallos/A	収穫 28日前 まで	4回 以内
	シルバーリーフ コナジラミ	0.075-0.1			
	カスミカメムシ類	0.05-0.1			
	ノミハムシ類	0.025-0.05			
	アザミウマ類	0.05-0.075			
	オオタバコガ (卵)	0.025-0.05			
	コナジラミ類 (卵)	0.075-0.1			
Tree Nuts アーモンド ペカン マカデミアナッツ ピスタチオ 等	アブラムシ類 ヨコバイ類	0.05-0.18	航空散布 10 gallons/A 地上散布 50 gallons/A	収穫 14日前 まで	4回 以内
	Glassywinged Sharpshooter Pecan Nut Casebearer	0.075-0.125			
	コドリンガ ナシヒメシクイ Peach twig borer ナシマルカイガラムシ Hickory shuckworm Pecan weevil Red humped caterpillar Filbertworm Navel orangeworm	0.1-0.18			

② 30% アセタミプリド 水溶性粒剤 (米国)

作物群	適用病 害虫名	薬量 lb ai/A	使用 液量	使用 時期	使用 回数
まめ類 エンドウマメ インゲンマメ ダイズ 等	アブラムシ類 ヨコバイ類 Cucumber beetle ダイズサルハムシ インゲンテントウ	0.047-0.1	航空散布 5 gallons/A	収穫 7日前 まで	3回 以内
	コナジラミ類	0.075-0.1	地上散布 20 gallons/A		
	アザミウマ類	0.085-0.1			
Tuberos And Corm Vegetables ジャガイモ サツマイモ クズウコン アーティチョーク 等	アブラムシ類	0.047-0.075	航空散布 5 gallons/A 地上散布 20 gallons/A	収穫 7日前 まで	4回 以内
	ヨコバイ類, コロラドハムシ Cucumber beetle	0.028-0.075			
	ノミハムシ類	0.028-0.047			
	ヨーロッパアワノメイガ (卵)	0.047-0.075			
アブラナ科作物 ブロッコリー キャベツ 芽キャベツ ミズナ カリフラワー ケール 等	アブラムシ類	0.038-0.075	航空散布 5 gallons/A 地上散布 20 gallons/A	収穫 7日前 まで	5回 以内
	コナジラミ類	0.047-0.075			
	アザミウマ類	0.075			
	コナガ	0.075			
	Swede midge	0.075			
葉野菜 セロリ レタス カラシナ ホウレンソウ パセリ 等	アブラムシ類	0.038-0.075	航空散布 5 gallons/A 地上散布 20 gallons/A	収穫 7日前 まで	5回 以内
	コナジラミ類	0.056-0.075			

作物群	適用病害虫名	薬量 lb ai/A	使用 液量	使用 時期	使用 回数
タマネギ および Bulb Vegetable 類 タマネギ ニンニク ユリネ 等	アザミウマ類	0.094-0.15	航空散布 5 gallons/A 地上散布 20 gallons/A	収穫 7日前 まで	4回 以内
果菜類 ナス トマト ホウズキ トウガラシ 等	アブラムシ類	0.038-0.075	航空散布 5 gallons/A 地上散布 20 gallons/A	収穫 7日前 まで	4回 以内
	コロラドハムシ	0.028-0.047			
	コナジラミ類	0.047-0.075			
	アザミウマ類	0.075			
	Pepper weevil	0.047-0.075			
うり類 メロン キュウリ カボチャ スイカ 等	Cucumber beetle Melonworm Pickleworm	0.047-0.10	航空散布 5 gallons/A 地上散布 20 gallons/A	収穫直後 まで (PHI 0)	5回 以内
	ヘリカメムシ類 Squash vine borer	0.10			
	アブラムシ類 ヨコバイ類	0.047-0.075			
	シルバーリーフ コナジラミ	0.047-0.10			
柑橘類 グレープフルーツ キンカン レモン ライム オレンジ ミカン 等	アブラムシ類	0.047-0.103	航空散布 20 gallons/A 地上散布 100 gallons/A	収穫 7日前 まで	5回 以内
	Citrus thrips, ミカンハモグリガ, Caribbean black scale, Glassywinged shaepshooter	0.075-0.13			
	アカマルカイガラムシ, カンキツカタカイガラムシ	0.15-0.25			
	キリギリス類	0.11-0.19			

作物群	適用病 害虫名	薬量 lb ai/A	使用 液量	使用 時期	使用 回数
Pome Fruit リンゴ ナシ マルメロ ビワ 等	アブラムシ類	0.047-0.075	航空散布 10 gallons/A 地上散布 50 gallons/A	収穫 7日前 まで	4回 以内
	Tentiform leafminer	0.047			
	ヨコバイ類	0.047-0.075			
	コドリンガ	0.075-0.15			
	ナシヒメシクイ Lesser apple worm	0.094-0.15			
	コナカイガラムシ類 <i>Psylla mullein</i> カスミカメムシ類	0.075-0.15			
	European apple sawfly マメコガネ	0.094-0.15			
	Apple maggot Plum curculio ナシマルカイガラムシ	0.15			
	Dogwood borer	0.15			
Stone Fruit アプリコット オウトウ ネクタリン モモ ブラム 等	アブラムシ類 ヨコバイ類	0.047-0.10	航空散布 10 gallons/A 地上散布 50 gallons/A	収穫 7日前 まで	4回 以内
	Glassywinged sharpshooter	0.075-0.15			
	ナシヒメシクイ Peach twig borer Plum curculio Cat-Facing insects	0.10-0.15			
	Cherry fruit fly Black cherry fly Western cherry fly	0.10-0.15			
	ナシマルカイガラムシ マメコガネ Rose chafer	0.10-0.15			

作物群	適用病 害虫名	薬量 lb ai/A	使用 液量	使用 時期	使用 回数
イチゴ および Low growing berry 類	Blueberry maggot, Blueberry spanworm, Cherry fruitworm, ノミハムシ類, マメコガネ, Oblique banded leaf roller, カスミカメムシ類 ケシクスイ類, アザミウマ類 コナジラミ類 Fireworm	0.075-0.13	航空散布 10 gallons/A 地上散布 20 gallons/A	収穫 1日前 まで	2回 以内
	アブラムシ類 ヨコバイ類 アワフキムシ類	0.035-0.075			
ブルーベリー および Bush and Cane berry 類 ブルーベリー ラズベリー 等	アブラムシ類 ヨコバイ類	0.047-0.1	航空散布 5 gallons/A 地上散布 20 gallons/A	収穫 1日前 まで	5回 以内
	コナジラミ類	0.075-0.1			
	マメコガネ Blueberry maggot, ケシクスイ類, Tamished plant bug, Strawberry rootworm, Cranberry fruitworm, Cherry fruitworm, ノミハムシ類, Blueberry spanworm アザミウマ類	0.085-0.1			
ぶどう キウイフルーツ (Fuzzy kiwifruit を 除く)	ヨコバイ類, Glassywinged sharpshooter, アブラムシ類, コナカイガラムシ類 Western grapeleaf skeletonizer (ロッキー山脈東側のみの登録) ブドウネアブラムシ Banded grape bug Rose chafer マメコガネ	0.047	航空散布 5 gallons/A 地上散布 20 gallons/A	収穫 7日前 まで	2回 以内

作物群	適用病 害虫名	薬量 lb ai/A	使用 液量	使用 時期	使用 回数
綿実	アブラムシ類	0.028-0.047	航空散布 5 gallons/A 地上散布 10 gallons/A	収穫 28 日前 まで	4 回 以内
	シルバーリーフ コナジラミ	0.075-0.1			
	カスミカメムシ類	0.047-0.1			
	ノミハムシ類	0.028-0.047			
	アザミウマ類	0.047-0.075			
	オオタバコガ (卵)	0.028-0.047			
	コナジラミ類 (卵)	0.075-0.1			
Tree Nuts アーモンド ペカン マカデミアナッツ ピスタチオ 等	アブラムシ類 ヨコバイ類	0.047-0.18	航空散布 10 gallons/A 地上散布 50 gallons/A	収穫 14 日前 まで	4 回 以内
	Glassywinged Sharpshooter Pecan Nut Casebearer	0.075-0.15			
	コドリガ ナシヒメシンクイ Peach twig borer ナシマルカイガラムシ Hickory shuckworm Pecan weevil Red humped caterpillar Filbertworm	0.10-0.18			

③ 4%アセタミプリド+5%インドキサカルブ 水和剤 (韓国)

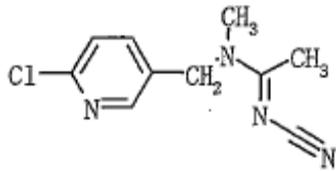
作物群	適用病 害虫名	薬量 lb ai/A	使用 液量	使用 時期	使用 回数
Unipe red peppers	アブラムシ類、蛾類、 シラミ類、アザミウマ	1000 倍希釈 (a. i. 0.010 kg/10a)	葉面散布 250 L/10 a	収穫 2 日前 まで	2 回

6. 作物残留試験

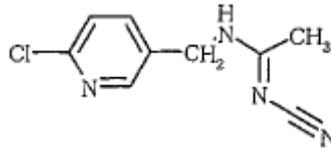
(1) 分析の概要

① 分析対象の化合物

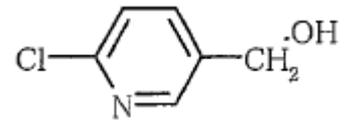
- ・ アセタミプリド (GC法、HPLC法)
- ・ アセタミプリド及び代謝物 5 化合物 (IM-2-1, IM-0, IM-0-Glc, IC-0) (統一法)



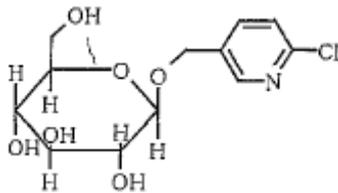
アセタミプリド (NI-25)



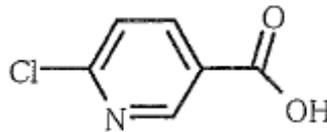
IM-2-1



IM-0



IM-0-Glc



IC-0

② 分析法の概要

- ・ GC法

アセトン抽出後、酢酸エチルに転溶し、ケイ酸マグネシウムミニカラムで精製後、アルカリ熱イオン化検出器又は高感度窒素・リン酸検出器付きガスクロマトグラフで定量する。

- ・ HPLC法

アセトンで抽出、多孔性ケイソウ土カラムを通した後、ケイ酸マグネシウムミニカラムで精製し、高速液体クロマトグラフを用いて定量する。

- ・ 統一法

メタノールで抽出後、水酸化ナトリウムで加水分解し、更に過マンガン酸カリウムで酸化し、すべての化合物を同一化合物 (IC-0) とする。ジクロロメタン+アセトンに転溶後、ジアゾメタンを用いて、エステル化し、カラムクロマトグラフィーで精製後、ガスクロマトグラフ (^{63}Ni ECD等) で定量する。

(2) 作物残留試験結果

作物残留試験においては、代謝物については、個別の定量は示されておらず、アセタミプリド 又は 代謝物をアセタミプリドに換算した分析値として記載されている。

①-1 とうもろこし

とうもろこし（種子）を用いた作物残留試験（2例）において、20%水溶剤の2000倍希釈液を3回散布（200L/10a）したところ、散布後14日の最大残留量^{（注1）}は、<0.05、<0.05ppmであった。

①-2 未成熟とうもろこし

未成熟とうもろこし（種子）を用いた作物残留試験（2例）において、20%水溶剤の2000倍希釈液を3回散布（200L/10a）したところ、散布後14日の最大残留量は、<0.05、<0.05ppmであった。

未成熟とうもろこし（種子）を用いた作物残留試験（2例）において、18%液剤の64倍希釈液を3回散布〔（3.2L/10a）産業用無人ヘリによる散布〕したところ、散布後14日の最大残留量は<0.05、<0.05ppmであった。

② あずき

あずき（乾燥種実）を用いた作物残留試験（2例）において、20%水溶剤の2000倍希釈液を3回散布（150L/10a）したところ、散布後21日の最大残留量は、<0.06、0.60ppmであった。

③ ばれいしょ

ばれいしょ（塊茎）を用いた作物残留試験（2例）において、20%水溶剤の2000倍希釈液を3回散布（200～300L/10a）したところ、散布後7～21日の最大残留量は、0.06、0.02ppm（統一法）であった。

ばれいしょ（塊茎）を用いた作物残留試験（2例）において、2%粒剤の撒溝処理（1回）（6kg/10a）及び20%水溶剤の2000倍希釈液を3回散布（200L/10a）したところ、散布後7日の最大残留量は、<0.05、<0.05ppmであった。

ばれいしょ（塊茎）を用いた作物残留試験（2例）において、2%粒剤の植溝土壌混和（1回）（6kg/10a）及び18%液剤の64倍希釈液を3回散布〔（3.2L/10a）無人ヘリによる散布〕したところ、散布後7日の最大残留量は<0.05、<0.05ppmであった。

④ さといも

さといも（塊根）を用いた作物残留試験（2例）において、2%粒剤の播溝散布処理を1回散布（6kg/10a）したところ、散布後160、183日の最大残留量は、<0.05、<0.05ppmであった。

⑤ やまのいも

やまのいも（塊根）を用いた作物残留試験（2例）において、20%水溶剤の2000倍希釈液を3回散布（200L/10a）したところ、散布後7、14日の最大残留量は0.01、0.01ppmであった。

⑥ こんにゃくいも

こんにゃくいも（球茎）を用いた作物残留試験（2例）において、2%粒剤の株元土壌混和を1回（3kg/10a）行ったところ、散布後134、136日の最大残留量は、<0.05、<0.05ppmであった。

⑦ てんさい

てんさい（塊茎）を用いた作物残留試験（2例）において、20%水溶剤の120倍希釈液を1回処理〔(6L/m² (10a相当)) 植え付け相当分苗床灌注〕したところ、処理後162、167日の最大残留量は<0.05、<0.05ppmであった。ただし、これらの試験は適用の範囲内で行われていない。

⑧ ⑨ だいこん

だいこん（根部）を用いた作物残留試験（2例）において、2%粒剤の播溝処理を1回（4kg/10a）したところ、散布後42、70日の最大残留量は0.03、<0.01ppmであった。ただし、これらの試験は適用の範囲内で行われていない。

だいこん（根部）を用いた作物残留試験（2例）において、20%水溶剤の2000倍希釈液を1回散布（100~200/10a）したところ、散布後14日の最大残留量は、<0.01、<0.01ppmであった。

だいこん（つまみ菜）（間引き菜）を用いた作物残留試験（2例）において2%粒剤の播溝処理を1回（4kg/10a）したところ、散布後13、12日の最大残留量は1.98、0.397ppmであった。ただし、これらの試験は適用の範囲内で行われていない。

だいこん（葉部）を用いた作物残留試験（2例）において2%粒剤の播溝処理を1回（4kg/10a）したところ、散布後42、70日の最大残留量は0.28、0.03ppmであった。ただし、これらの試験は適用の範囲内で行われていない。

だいこん（葉部）を用いた作物残留試験（2例）において20%水溶剤の2000倍希釈液を1回散布（100~200/10a）したところ、散布後14日の最大残留量は0.06、0.24ppmであった。

⑧ ⑨ はつかだいこん

はつかだいこん（根部）を用いた作物残留試験（2例）において、20%水溶剤の2000倍希釈液を1回散布（150L/10a）したところ、散布後14日の最大残留量は、<0.01、<0.01ppmであった。

はつかだいこん（葉部）を用いた作物残留試験（2例）において、20%水溶剤の2000倍希釈液を1回散布（150L/10a）したところ、散布後14日の最大残留量は、<0.05、<0.05ppmであった。

⑩ ⑪ かぶ

かぶ（根）を用いた作物残留試験（2例）において、20%水溶剤の2000倍希釈液を1回散布（306.8又は242.4L/10a）したところ、散布後21日の最大残留量は、0.02、0.02ppmであった

かぶ（葉）を用いた作物残留試験（2例）において、20%水溶剤の2000倍希釈液を1回散布（306.8又は242.4L/10a）したところ、散布後21日の最大残留量は1.02、1.57ppmであった。

⑫ ワサビダイコン

ワサビダイコン（根茎）を用いた作物残留試験（2例）において、20%水溶剤の2000倍希釈液を1回散布（150L/10a）したところ、散布後7日の最大残留量は、<0.01、<0.01ppmであった。

⑬ はくさい

はくさい（茎葉）を用いた作物残留試験（2例）において、2%粒剤の植穴混和処理（2g/株）1回及び20%水溶剤の1000倍希釈液を3回散布（64～150L/10a）したところ、散布後14日の最大残留量は0.15、0.18ppmであった。ただし、これらの試験は適用の範囲内で行われていない。

⑭-1 キャベツ

キャベツ（葉球）を用いた作物残留試験（2例）において、2%粒剤の植穴混和処理（2g/株）1回及び20%水溶剤の1000倍希釈液を5回散布（150L/10a）したところ、散布後7日の最大残留量は1.09、0.90ppmであった。

キャベツ（葉球）を用いた作物残留試験（2例）において、2%粒剤の植穴混和処理（2g/株）1回及び20%水溶剤の1000倍希釈液を3回散布（150L/10a）したところ、散布後14日の最大残留量は0.24、0.42ppmであった。

⑭-2 メキャベツ

メキャベツ（芽球）を用いた作物残留試験（2例）において、20%水溶剤の2000倍希釈液を1回散布（200L/10a）したところ、散布後6、7日の最大残留量は、<0.05、0.10ppmであった。

⑮ こまつな

こまつな（茎葉）を用いた作物残留試験（2例）において、20%水溶剤の4000倍希釈液を1回散布（150L/10a）したところ、散布後7日の最大残留量は、1.00、1.76ppmであった。

⑩ みずな

みずな（茎葉）を用いた作物残留試験（2例）において、20%水溶剤の4000倍希釈液を1回散布（200L/10a）したところ、散布後7日の最大残留量は、1.00、2.25ppmであった。

みずな（茎葉）を用いた作物残留試験（2例）において、20%水溶剤の4000倍希釈液を2回散布（200L/10a）したところ、散布後7日の最大残留量は、1.44、1.75ppmであった。ただし、これらの試験は適用の範囲内で行われていない。

⑪ チンゲンサイ

チンゲンサイ（茎葉）を用いた作物残留試験（2例）において、2%粒剤の植穴混和処理（1g/株）1回及び20%水溶剤の2000倍希釈液を1回散布（200L/10a）したところ、散布後14、7日の最大残留量は2.72、1.22ppmであった。

⑫ カリフラワー

カリフラワー（花蕾）を用いた作物残留試験（2例）において、20%水溶剤の2000倍希釈液を3回散布（200、266.7～300L/10a）したところ、散布後7日の最大残留量は、0.18、0.34ppmであった。

⑬ ブロッコリー

ブロッコリー（花蕾）を用いた作物残留試験（2例）において、2%粒剤の植穴混和処理（2g/株）1回及び20%水溶剤の1000倍希釈液を3回散布（150L/10a）したところ、散布後14日の最大残留量は0.36、0.64ppmであった。ただし、これらの試験は適用の範囲内で行われていない。

⑭-1,2 非結球メキャベツ

非結球メキャベツ（えき芽葉）を用いた作物残留試験（2例）において、20%水溶剤の2000倍希釈液を2回散布（200L/10a）したところ、散布後7日の最大残留量は、0.60、0.68ppmであった。

非結球メキャベツ（本葉）を用いた作物残留試験（2例）において、20%水溶剤の2000倍希釈液を2回散布（200L/10a）したところ、散布後7日の最大残留量は、0.88、2.85ppmであった。

⑭-3 茎ブロッコリー

茎ブロッコリー（花蕾及び茎）を用いた作物残留試験（2例）において、20%水溶剤の **2000倍**希釈液を2回散布（200L/10a）したところ、散布後1日の最大残留量は、0.40、0.12ppmであった。ただし、これらの試験は適用の範囲内で行われていない。

⑳-4 なずな

なずな（茎葉部）を用いた作物残留試験（2例）において、20%水溶剤の8000倍希釈液を1回散布（200L/10a）したところ、散布後7日の最大残留量は、0.24、0.48ppmであった。

⑳-5 ひこしまはるな

ひこしまはるな（茎葉部）を用いた作物残留試験（2例）において、2%粒剤の植穴土壌混和を1回散布（1g/株）したところ、散布後53、54日の最大残留量は、<0.1、<0.1ppmであった。

㉑ しゅんぎく

しゅんぎく（茎葉）を用いた作物残留試験（2例）において、20%水溶剤の8000倍希釈液を2回散布（300、150L/10a）したところ、散布後14日の最大残留量は、2.02、0.39ppmであった。

㉒-1 レタス

レタス（茎葉）を用いた作物残留試験（2例）において、20%水溶剤の **2000倍**希釈液を3回散布（150～250L/10a）したところ、散布後7日の最大残留量は0.08、0.31ppmであった。ただし、これらの試験は適用の範囲内で行われていない。

レタス（茎葉）を用いた作物残留試験（2例）において、2%粒剤の植穴混和处理（2g/株）1回及び20%水溶剤の2000倍希釈液を3回散布（80.8～200L/10a）したところ、散布後7日の最大残留量は、0.54、0.34ppmであった。

㉒-2 リーフレタス

リーフレタス（茎葉）を用いた作物残留試験（2例）において、20%水溶剤の4000倍希釈液を1回散布（245～257.257.1L/10a）散布、及び2%粒剤の定植時株元散布（0.5g/株）したところ、散布後7～21日の最大残留量は1.68、1.48ppmであった。

㉒-3 ロメインレタス

ロメインレタス（茎葉）を用いた作物残留試験（2例）において、20%水溶剤の4000倍希釈液を1回散布（200、300L/10a）及び2%粒剤の定植時株元散布（0.5g/株）したところ、散布後7～21日の最大残留量は2.67、1.02ppmであった。

㉓-1 くきちしゃ

くきちしゃ（茎葉）を用いた作物残留試験（2例）において、20%水溶剤の4000倍希釈液を2回散布（150L/10a）したところ、散布後7日の最大残留量は<0.05、<0.05ppmであった。

㊸-2 ははこぐさ（ゴギョウ）

ははこぐさ（ゴギョウ）（茎葉部）を用いた作物残留試験（2例）において、20%水溶剤の8000倍希釈液を1回散布（200L/10a）したところ、散布後7日の最大残留量は0.34、0.77ppmであった。

㊸-3 食用ぎく

食用ぎく（花卉）を用いた作物残留試験（2例）において、20%水溶剤の2000倍希釈液を2回散布（150、200L/10a）したところ、散布後14日の最大残留量は、1.26、0.48ppmであった。

㊸-4,5 ふき

ふき（葉柄）を用いた作物残留試験（2例）において、2%粒剤の定植直後株元散布を1回（2g/株）及び20%水溶剤の3000倍希釈液を2回散布（300L/10a）したところ、散布後14日の最大残留量は、0.10、0.06ppmであった。

ふき（葉柄）を用いた作物残留試験（2例）において、2%粒剤の株元散布を1回（2g/株）したところ、散布後82、100日の最大残留量は<0.05、<0.05ppmであった。

㊸ たまねぎ

たまねぎ（鱗茎）を用いた作物残留試験（2例）において、20%水溶剤の2000倍希釈液を3回散布（150L/10a）したところ、散布後7日の最大残留量は、<0.05、<0.05ppmであった。

㊸-1,2 葉ねぎ

葉ねぎ（茎葉）を用いた作物残留試験（2例）において、20%水溶剤の2000倍希釈液を3回散布（150L/10a）したところ、散布後7日の最大残留量は、0.14、0.15ppmであった。

葉ねぎ（茎葉）を用いた作物残留試験（2例）において、2%粒剤の株元散布を3回（6kg/10a）したところ、散布後7日の最大残留量は、<0.05、<0.05ppmであった。

㊸-3,4 根深ねぎ

根深ねぎ（茎葉）を用いた作物残留試験（2例）において、20%水溶剤の2000倍希釈液を3回散布（150L/10a）したところ、散布後7日の最大残留量は、<0.05、

<0.05ppm であった。

根深ねぎ（茎葉）を用いた作物残留試験（2例）において、2%粒剤を株元処理を3回（6kg/10a）したところ、散布後7日の最大残留量は、<0.05、<0.05ppmであった。

⑳ には

には（茎葉）を用いた作物残留試験（2例）において、20%水溶剤の4000倍希釈液を3回散布（150L/10a）したところ、散布後1日の最大残留量は、1.46、1.84ppmであった。

㉑ アスパラガス

アスパラガス（茎）を用いた作物残留試験（1例）において、20%水溶剤の4000倍希釈液を2回散布（400L/10a）したところ、散布後1日の最大残留量は0.20ppmであった。

アスパラガス（茎）を用いた作物残留試験（1例）において、20%水溶剤の4000倍希釈液を2回散布（400L/10a）したところ、散布後1日の最大残留量は0.07ppmであった。

㉒ わけぎ

わけぎ（茎葉）を用いた作物残留試験（2例）において、2%粒剤（6kg/10a）1回散布及び20%水溶剤の2000倍希釈液（300、278L/10a）3回散布したところ、散布後7日の最大残留量は、1.36、0.14ppmであった。

わけぎ（茎葉）を用いた作物残留試験（2例）において、2%粒剤（6kg/10a）1回散布及び20%水溶剤の4000倍希釈液（300、278L/10a）3回散布したところ、散布後7日の最大残留量は、0.40、<0.05ppmであった。

㉓-1 食用ゆり

食用ゆり（鱗茎）を用いた作物残留試験（2例）において、20%水溶剤の4000倍希釈液を4回散布（150、200L/10a）したところ、散布後1日の最大残留量は、<0.05、<0.05ppmであった。

㉓-2 らっきょう

らっきょう（鱗茎）を用いた作物残留試験（3例）において、20%水溶剤の2000倍希釈液を3回散布（150、200L/10a）したところ、散布後14日の最大残留量は、<0.01、0.03、0.02ppmであった。

⑩ パセリ

パセリ（茎葉）を用いた作物残留試験（2例）において、20%水溶剤の8000倍希釈液を1回散布（200L/10a）したところ、散布後3日の最大残留量は、1.10、0.39ppmであった。

⑪ セロリ

セロリ（茎葉）を用いた作物残留試験（2例）において、2%粒剤の定植時植穴土壌混和を1回（0.5g/株）したところ、散布後71、100日の最大残留量は、<0.05、<0.05ppmであった。

セロリ（茎葉）を用いた作物残留試験（2例）において、20%水溶剤の4000倍希釈液を2回散布（250、235L/10a）したところ、散布後7日の最大残留量は、0.85、0.30ppmであった。

⑫ みつば

みつば（茎葉）を用いた作物残留試験（2例）において、20%水溶剤の8000倍希釈液を1回散布（150、200L/10a）したところ、散布後7日の最大残留量は、0.97、1.82ppmであった。

⑬-1 ミニトマト

ミニトマト（果実）を用いた作物残留試験（2例）において、15%燻煙剤の燻煙処理（50g/400m³）及び2%粒剤（1g/株）定植時植穴土壌混和したところ、散布後1日の最大残留量は、0.16、<0.05ppmであった。

ミニトマト（果実）を用いた作物残留試験（2例）において、20%水溶剤の2000倍希釈液を3回散布（300L/10a）及び2%粒剤の定植時植穴土壌混和（1g/株）したところ、散布後1日の最大残留量は、0.50、0.73ppmであった。ただし、これらの試験は適用の範囲内で行われていない。

ミニトマト（果実）を用いた作物残留試験（2例）において、2%粒剤を定植時植穴土壌混和（1g/株）及び1%粒剤を生育期株元散布（2g/株）したところ、散布後1日の最大残留量は、<0.05、<0.05ppmであった。

⑬-2 トマト

トマト（果実）を用いた作物残留試験（2例）において、20%水溶剤の2000倍液希釈液を2回散布（300L/10a）したところ、散布後1～7日の最大残留量は0.23、0.42ppmであった。

トマト（果実）を用いた作物残留試験（2例）において、20%水溶剤の2000倍希

積液を2回散布(300L/10a)したところ、散布後1日の最大残留量は、0.21、0.46ppmであった。

トマト(果実)を用いた作物残留試験(2例)において、2%粒剤の植穴混和处理(2g/株)1回及び20%水溶剤の2000倍液希積液を2回散布(200L/10a)したところ、散布後1、3日の最大残留量は、0.20、0.20ppmであった。

トマト(果実)を用いた作物残留試験(2例)において、15%燻煙剤を2回燻煙(50g/400m³)したところ、散布後1、3日の最大残留量は、0.02、0.04ppmであった。

トマト(果実)を用いた作物残留試験(2例)において、2%粒剤の定植時植穴混和(2g/株)1回及び株元散布(1g/株)2回処理したところ、散布後1日の最大残留量は、<0.05、<0.05ppmであった。

③④ ピーマン

ピーマン(果実)を用いた作物残留試験(2例)において、2%粒剤の植穴混和处理(1g/株)1回散布したところ、散布後93、44日の最大残留量は、0.04、0.15ppmであった。ただし、これらの試験は適用の範囲内で行われていない。

ピーマン(果実)を用いた作物残留試験(2例)において、20%水溶剤の**2000倍**液希積液を**3回**散布(250~300/10a)したところ、散布後1日の最大残留量は、2.33、1.45ppmであった。ただし、これらの試験は適用の範囲内で行われていない。

ピーマン(果実)を用いた作物残留試験(1例)において、15%燻煙剤を**3回**散布(50g/400 m³)したところ、散布後1日の最大残留量は0.24ppmであった。ただし、これらの試験は適用の範囲内で行われていない。

ピーマン(果実)を用いた作物残留試験(1例)において、15%燻煙剤を**3回**散布(50g/400 m³)したところ、散布後1~7日の最大残留量は0.20ppmであった。ただし、これらの試験は適用の範囲内で行われていない。

ピーマン(果実)を用いた作物残留試験(2例)において、2%粒剤の植穴混和处理(1g/株)1回処理したところ、処理後84、78日の最大残留量は、0.03、0.01ppmであった。ただし、これらの試験は適用の範囲内で行われていない。

ピーマン(果実)を用いた作物残留試験(2例)において、20%水溶剤の4000倍液希積液を2回散布(200~400/10a)したところ、散布後1日の最大残留量は、0.18、0.40ppmであった。

ピーマン（果実）を用いた作物残留試験（2例）において、2%粒剤を植穴土壌混和処理（0.5g/株）1回及び1%粒剤を生育期株元散布（2g/株）2回処理したところ、散布後1日の最大残留量は、<0.05、0.05ppmであった。

ピーマン（果実）を用いた作物残留試験（2例）において、2%粒剤の植穴土壌混和処理（0.5g/株）1回及び15%燻煙剤を2回燻煙（50g/400m²）したところ、散布後1日の最大残留量は、0.24、0.14ppmであった。

ピーマン（果実）を用いた作物残留試験（2例）において、2%粒剤の定植時植穴土壌混和処理（0.5g/株）1回散布及び20%水溶剤の4000倍希釈液を2回散布（150、220.4L/10a）茎葉散布したところ、散布後1日の最大残留量は、0.32、0.43ppmであった。

㊦ なす

なす（果実）を用いた作物残留試験（2例）において、2%粒剤の植穴混和処理を1回散布（1g/株）したところ、散布後63、60日の最大残留量は、0.04、0.02ppmであった。

なす（果実）を用いた作物残留試験（2例）において、20%水溶剤の4000倍希釈液を3回散布（300L/10a）したところ、散布後1～3日の最大残留量は、**0.150、0.584ppm**（GC法）であった。ただし、これらの結果は1機関での分析とされる。

なす（果実）を用いた作物残留試験（2例）において、20%水溶剤の4000倍希釈液を3回散布（300L/10a）したところ、散布後1～7日の最大残留量は、**0.51、0.33ppm**（統一法）であった。ただし、これらの結果は1機関での分析とされる。

なす（果実）を用いた作物残留試験（2例）において、2%粒剤の植穴混和処理を1回処理（1g/株）及び20%水溶剤の**2000倍**希釈を3回散布（150、400L/10a）したところ、散布後1日の最大残留量は、0.50、0.27ppmであった。ただし、これらの試験は適用の範囲内で行われていない。

なす（果実）を用いた作物残留試験（2例）において、2%粒剤の植穴混和処理を1回処理（1g/株）及び15%燻煙剤を3回処理（50g/400m³）したところ、散布後1日の最大残留量は、0.14、0.12ppmであった。

なす（果実）を用いた作物残留試験（2例）において、2%粒剤の定植時植穴混和処理を1回処理（1g/株）及び1%粒剤を3回生育期株元散布（2g/株）したところ、散布後1日の最大残留量は、<0.05、<0.05ppmであった。

なす（果実）を用いた作物残留試験（2例）において、15%燻煙剤を3回散布（50g/400m³）したところ、散布後1～7日の最大残留量は、0.07、0.23ppmであった。

③⑥-1 とうがらし類

とうがらし類（果実）を用いた作物残留試験（2例）において、20%水溶剤の8000倍希釈液を2回散布（200、267.56L/10a）したところ、散布後7日の最大残留量は、0.16、0.07ppmであった。

③⑥-2 ししとう

ししとう（果実）を用いた作物残留試験（2例）において、20%水溶剤の8000倍希釈液を2回散布（300L/10a）したところ、散布後8、7日の最大残留量は、0.36、0.28ppmであった。

③⑥-3 食用ほおずき

食用ほおずき（果実）を用いた作物残留試験（2例）において、20%水溶剤の4000倍希釈液を3回散布（200L/10a）したところ、散布後14日の最大残留量は、<0.05、<0.05ppmであった。

③⑦ きゅうり

きゅうり（果実）を用いた作物残留試験（2例）において、2%粒剤の株元散布を1回散布（1g/株）したところ、散布後48、46日の最大残留量は、0.09、0.02ppmであった。

きゅうり（果実）を用いた作物残留試験（2例）において、20%水溶剤の2000倍希釈液を3回散布（171～300L/10a）したところ、散布後1、3日の最大残留量は0.42、0.26ppmであった。

きゅうり（果実）において、15%燻煙剤を3回燻煙（50g/400m³）したところ、散布後3、1日の最大残留量は、0.32、0.52ppmであった。

きゅうり（果実）を用いた作物残留試験（2例）において、2%粒剤の株元散布を2回（定植時1g/株及び生育期0.5g/株）及び1%粒剤を3回散布（2g/株）したところ、散布後1日の最大残留量は、0.10、<0.05ppmであった。

きゅうり（果実）を用いた作物残留試験（2例）において、2%粒剤を株元散布を2回（定植時1g/株及び生育期0.5g/株）及び15%燻煙剤を3回燻煙処理（50g/400m³）したところ、散布後1日の最大残留量は、0.20、0.06ppmであった。

きゅうり（果実）を用いた作物残留試験（2例）において、2%粒剤を株元散布を

2回（定植時 1g/株及び生育期 0.5g/株）及び 20%水溶剤の 2000 倍希釈を 3 回散布（150～200L/10a）したところ、散布後 1 日の最大残留量は、0.29、0.29ppm であった。

㊸-1,2 かぼちゃ

かぼちゃ（果実）を用いた作物残留試験（2 例）において、20%水溶剤の 2000 倍希釈液を 2 回散布（300L/10a）したところ、散布後 1 日の最大残留量は、<0.05、0.21ppm であった。

かぼちゃ（果実）を用いた作物残留試験（2 例）において、2%粒剤の定植時植穴土壌混和（1g/株）及び 20%水溶剤の 2000 倍希釈液を 2 回散布（300 又は 200L/10a）したところ、散布後 1 日の最大残留量は、0.06、0.08ppm であった。

㊸-3 ズッキーニ

ズッキーニ（果実）を用いた作物残留試験（2 例）において、15%燻煙成型剤の燻煙処理を 2 回処理（50g/400m³）したところ、燻煙後 1 日の最大残留量は、<0.01、<0.01ppm であった。

㊹ すいか

すいか（果実）を用いた作物残留試験（2 例）において、15%燻煙剤を 3 回処理（50g/400 m²）したところ、処理後 7、3 日の最大残留量は、0.06、0.09ppm であった。

すいか（果実）を用いた作物残留試験（2 例）において、2%粒剤の定植時植穴土壌混和（**2g**/株）1 回及び 20%水溶剤の 2000 倍希釈液を 3 回散布（200L/10a）したところ、散布後 7、14 日の最大残留量は、0.06、0.07ppm であった。ただし、これらの試験は適用の範囲内で行われていない。

㊹ メロン

メロン（果実）を用いた作物残留試験（2 例）において、20%水溶剤の **2000 倍**希釈液を 3 回散布（200・300L/10a）したところ、散布後 7、14 日の最大残留量は、0.14、0.03ppm であった。ただし、これらの試験は適用の範囲内で行われていない。

メロン（果実）を用いた作物残留試験（2 例）において、2%粒剤の定植時植穴土壌混和（2g/株）**1 回**及び 20%水溶剤の 8000 倍希釈液を 3 回散布（150～200L/10a）したところ、散布後 3、7 日の最大残留量は、<0.05、<0.05ppm であった。ただし、これらの試験は適用の範囲内で行われていない。

メロン（果実）を用いた作物残留試験（2 例）において、15%燻煙剤を 3 回処理

(50g/400 m²) したところ、処理後 7 日の最大残留量は、0.16、0.14ppm であった。

④② にがうり

にがうり（果実）を用いた作物残留試験（2 例）において、20%水溶剤の 4000 倍希釈液を 3 回散布（200L/10a）したところ、散布後 1 日の最大残留量は、0.16、0.20ppm であった。

④③-1 ほうれんそう

ほうれんそう（茎葉）を用いた作物残留試験（2 例）において、20%水溶剤の 8000 倍希釈液を 2 回散布（150～200L/10a）したところ、散布後 3 日の最大残留量は、2.52、1.66ppm であった。使用方法について、散布後 14 日への見直し（④③-2 参照）を行ったところ、最大残留量は、0.42、0.06ppm となった。

④③-2 ほうれんそう

ほうれんそう（茎葉）を用いた作物残留試験（2 例）において、20%水溶剤の 8000 倍希釈液を 2 回散布（200L/10a）したところ、散布後 3 日の最大残留量は、**13.0**、2.10ppm であった。短期暴露量推計の試算も勘案し、使用方法について、散布後 14 日への見直しを行ったところ、最大残留量は、1.52、0.32ppm となった。

④④ オクラ

オクラ（果実）を用いた作物残留試験（2 例）において、20%水溶剤の 4000 倍液希釈液を 1～3 回散布（150 L/10a）したところ、散布後 1 日の最大残留量は、0.18、0.41ppm であった。

④⑤ さやえんどう

さやえんどう（さや）を用いた作物残留試験（2 例）において、20%水溶剤の 4000 倍希釈液を 3 回散布（300L/10a）したところ、散布後 1 日の最大残留量は 0.84、0.26ppm であった。

④⑥ さやいんげん（さや）

さやいんげん（さや）を用いた作物残留試験（2 例）において、20%水溶剤の 2000 倍希釈液を 3 回散布（150L/10a）したところ、散布後 1 日の最大残留量は、0.52、0.26ppm であった。

さやいんげん（さや）を用いた作物残留試験（2 例）において、20%水溶剤の 2000 倍希釈液を 3 回散布（150～400L/10a）したところ、散布後 1 日の最大残留量は、0.50、1.45ppm であった。

④⑦-1 えだまめ（さや）

えだまめ（さや）を用いた作物残留試験（2例）において、2%粒剤の土壌混和処理（3kg/10a）及び20%水溶剤の**2000倍**希釈液散布（150L/10a）を3回散布したところ、散布後7日の最大残留量は、1.42、0.83ppmであった。

④7-2 えだまめ（さや）

えだまめ（さや）を用いた作物残留試験（2例）において、20%水溶剤の**2000倍**希釈液を3回散布（150L/10a）したところ、散布後7日の最大残留量は、0.31、1.48ppmであった。ただし、これらの試験は適用の範囲内で行われていない。

④8-1 エンサイ

エンサイ（茎葉）を用いた作物残留試験（2例）において、20%水溶剤の4000倍希釈液を2回散布（200L/10a）したところ、散布後7日の最大残留量、0.42、2.03ppmであった。

④8-2 ふだんそう

ふだんそう（葉）を用いた作物残留試験（2例）において、20%水溶剤の4000倍希釈液を2回散布（150、200L/10a）したところ、散布後7日の最大残留量は、1.62、1.94ppmであった。

④8-3 つるな

つるな（茎葉）を用いた作物残留試験（2例）において、20%水溶剤の4000倍希釈液を3回散布（300L/10a）したところ、散布後14日の最大残留量は、1.8、2.8ppmであった。

④8-4 モロヘイヤ

モロヘイヤ（茎葉）を用いた作物残留試験（2例）において、20%水溶剤の**2000倍**希釈液を2回散布（200L/10a）したところ、散布後21日の最大残留量は、1.01、0.52ppmであった。ただし、これらの試験は適用の範囲内で行われていない。

④8-5 食用さくら（葉）

食用さくら（葉）を用いた作物残留試験（2例）において、20%水溶剤の4000倍希釈液を1回散布（300L/10a）したところ、散布後3日の最大残留量は、1.22、0.33ppmであった。

④8-6 やまのいも（むかご）

むかご（やまのいも）（珠芽）を用いた作物残留試験（2例）において、20%水溶剤の4000倍希釈液を3回散布（300L/10a）したところ、散布後21日の最大残留量は、0.15、0.08ppmであった。